

# 平成 30 年度 自己点検・自己評価報告書

平成 31 年 3 月 31 日現在

専門学校 第一自動車大学校

平成 31 年 4 月 26 日作成



## 基準 1 教育理念・目的・人材育成像

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育基本法及び学校教育法に従い本校の建学の精神である「個性の伸展による人生錬磨を校是とする」を掲げその方針に則り各自の能力及び特性に応じ社会の要求に即応した2級自動車整備士という人材を養成し我が国の自動車産業の技術の振興に寄与する。</p>	<p>今までの偏差値教育からの脱却として「個性教育」を建学の精神に掲げ昭和31年1月31日に都築高宮学園福岡第一高等学校が発足、平成元年4月1日に個性教育を継承する専門学校として開校する。</p>

## 1-1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	3	個性を伸ばし自信をつけさせ社会に送り出したいという創設者の遺志を受け継ぎ自動車業界の技術の振興に寄与する人材の育成。	整備士になりたいという夢と希望を持った学生、社会人を広く受け入れている。	整備士への希望を持った若者の減少と学力低下 全てを白紙の状態から教え直す授業を展開する。	
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	3	国土交通省の指定校としての基準以上の教育時間数を設け基本を中心にわかる教育わからせる教育を常に取り組みように実施している。	学科600時間、実習1200時間という基準以上の教育及び実社会に出て役立つ資格取得、講演、教育を計画している。	基準以上の授業時間確保と国試対策を効率よく行うを試行錯誤している段階である。	
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	2	本校は20年前に創設され国土交通省の保安基準等に沿った設備等を適時改善していく努力を行っている。	自動車産業界の進歩及びそれによる保安基準への対応、また、専門学校の魅力作り。	入学者の減少に伴う、収支悪化による経営難の中での保安基準への対応に全力を注ぐ。	
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	3	過去においては周知されていなかったがここ数年の専門学校の置かれている状況により教職員に対しては周知徹底をはかっている。学外に公表する努力している。	専門学校の存続に関わる問題である。	入学者の減少に伴う、収支悪化による経営難の中での保安基準への対応に全力を注ぐ。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 1-2 学校の特色はなにか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-2-5 学校の特色として挙げられるものがあるか	4	30年間の2級自動車整備士合格率及び就職率の実績。 社会人になるための心構えが自主的に行えている。	自主的な挨拶及び学校周辺での社会的ルールの遵守。	声かけにより徹底を図っている。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 1-3 学校の将来構想を抱いているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-3-6 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	3	経営側の本校に対する将来構想が示されてない。	若者の車離れ及び自動車産業界の低迷、過度な専門学校の開校により整備専門学校の入学者が伸び悩み定員減が続いている。	学園全体の経営再建が行われており、グループ学校の募集停止等の計画もある中で存続も見えない状況である。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 基準 2 学校運営

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学園全体での本校の位置づけ及び将来像が経営者により具体的な方針が示されていないため将来に向かっての人事面、施設及び設備の投資等が円滑に行えない。</p>	<p>平成 22 年度より自動車整備学科を自動車整備士コース、自動車ビジネスコースへのコース分けと定員減を行う。</p> <p>整備士希望者の減少を留学生向けのビジネスコース設置により、定員確保を行う。</p> <p>人事面、施設及び設備の投資は最小限保安基準を満たす事を最優先で行い、将来的な人事面については、その都度考慮されていくほかはない。</p> <p>ビジネスコースを廃止し、平成 27 年 1 級自動車整備士コースを設置。</p> <p>平成 30 年留学生基礎自動車整備士コースを設置する予定。</p>

## 2-4 目的等に沿った運営方針が策定されているか。

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	3	人事面、施設及び設備の投資等が円滑に行えない。	学園グループの中の一学校という位置づけであり、整備専門学校としての運営等が自由に行えない。	整備専門学校入学者の減少と私学の経営難の中で専門学校独自の運営は出来ない。入学者を増やしていく努力が必要。	
2-4-2 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	3	経営者からの運営方針は伝わっていない。	学園グループの中の優先順位があり偏った学園運営が行われているため。	明示されていない。	
2-4-3 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	3	専門学校内の各諸規定は整備されている。	学則及び内規等によって本校では整備され実施している。	何時何処で誰でも自由に閲覧出来るようになっていないので、その方向に進むのが望ましい。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切



## 2-5 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-5-4 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	3	広報、募集等及び学生に対する教職員の教育等は教務・広報中心にきちんと計画が定められているが、施設、設備面等では計画が見えない。	学校環境・保安基準に対する施設及び設備等の改善が遅れている。	保安基準に沿った施設改善は必要最低限度行う。	
2-5-5 学校は事業計画に沿って運営されているか	3	学園グループ全体の一学校としての位置づけであるため事業計画は不明である。	経営者と学校責任者との話し合いの場が設置されにくい。	事業計画が遅れているため、保安基準に沿った施設改善は必要最低限度行う。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-6-6 運営組織図はあるか	3	教職員全体での校務分掌等での運営を行っている。	校務分掌表を各自に配付、分掌内容の細部項目を示し、徹底を図っている。	運営組織や意志決定機関、校務分掌の見直し等を行っているが、一層の徹底を図る事を進めていく。	
2-6-7 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	3	年度計画作成に基づき毎月の職員会議前に計画実施事項・連絡事項等の確認を行い職員会議で意志徹底をはかっている。	翌月の細部予定及び翌々月の予定等を配付確認し、教育、行事等確認徹底を図っている。	運営組織や意志決定機関、校務分掌の見直し等を行っているが、一層の徹底を図る事を進めていく。	
2-6-8 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	3	各業務分担に沿って行われている。	各業務分担に沿って円滑に行われている。	運営組織や意志決定機関、校務分掌の見直し等を行っているが、一層の徹底を図る事を進めていく。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-7-9 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	3	学園本部裁量。			
2-7-10 人事考課制度は整備されているか	2	学園本部裁量。			
2-7-11 昇進・昇格制度は整備されているか	3	学園本部裁量。			
2-7-12 賃金制度は整備されているか	3	学園本部裁量。			

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-7-13 採用制度は整備されているか	3	学園本部裁量。			
2-7-14 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	3	設置基準（学則）に沿った職員採用は、行われている。	過不足なし。	2011 年度以降は定員減のため職員削減を実施し、体制作りを行わなければならない。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 2-8 意思決定システムは確立されているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-8-15 意思決定システムは確立されているか	3	本校内では副校長、事務長、教務課長、学生課長との定期的な会議が行われ上層部の意思の統一は図られている。	着実に実施実行している。	運営組織や意志決定機関、校務分掌の見直し等を行っているが、一層の徹底を図る事を進めていく。	
2-8-16 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか	3	副校長、事務長、教務課長、学生課長との定期的な会議及び教職員会議が行われ意思の統一は図られている。	着実に実施実行している。	運営組織や意志決定機関、校務分掌の見直し等を行っているが、一層の徹底を図る事を進めていく。	
2-8-17 意思決定の階層・権限等は明確か、学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	2	意思決定の階層・権限等は明確であるが、必要な人材の確保育成に関しては、やや不備な面が見られる。	年齢の偏り経験担当分野の偏りがややある。	運営組織や意志決定機関、校務分掌の見直し等を行っているが、一層の徹底を図る事を進めていく。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-9-18 業務効率化を図る情報システム化がなされているか	3	学生の出席・成績等の管理についてシステム化して効率化を図っている。	7～8年前からシステム化を図り現在も改良しながら効率性を上げている。		

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

### 基準3 教育活動

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>国土交通省の指定校として基準以上の教育及び学校独自の指定外教育等によりわかる教育、わからせる教育をモットーに1・2級自動車整備士合格率及び就職率100%達成に向けて全教職員一同全力を注いでいる。また、1・2級自動車整備士以外の自動車関連の資格取得を積極的に奨励し、学生の1・2級自動車整備士としての自覚及び技術の向上に努めている。</p>	<p>夢と希望を持った学生に対して自由に受け入れを行い。一人一人の個性を生かし、学力に合った授業体制の中で基本に力を入れ、各科試験合格まで持って行っている。</p>

<b>3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか</b>
--

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-10-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3	シラバス作成及び学生の授業アンケート、教育日誌、教員の授業自己評価アンケートの実施。	整備振興会、業者・ディーラー等や自動車新聞、JAMCAからの情報を生かしている。	教員は整備振興会等の外部講習等を受講し業界人材ニーズに合う授業を一層進めていく。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切



**3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか**

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	4	2級自動車整備士国家試験全員合格に向けて全職員あげて取り組んでいる。	学生に対しては国家試験を主眼に入れて、模擬試験・補習など様々なものを取り入れている。	日頃の学習（学科・実習）をどれだけ国家試験と結びつけ、関連を持たせるかが、次年度以降からの課題である。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-12-3 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	3	国土交通省の指定校としての基準時間以上に授業を行い、シラバス等で内容を確認検討しながら行っている。	基準時間以上のカリキュラムの中でも学生の不得手な科目に時間を割きた、主要な科目についても理解しやすいように体系的に編成している。	高校教育では履修していない教科も出てきており、中学校の2年程度辺りからの履修内容まで戻り授業を行うなどして、理解させている。	
3-12-4 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	3	現役の整備士及びディーラー関係者より現場で必要な知識技術等を参考にカリキュラムを構成している。	卒業生からの情報や講演を依頼した際に提供してもらう情報を基に作成している。		
3-12-5 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	3	教務課を中心に各教育担当者の意見を反映させ編成している。	毎年、科目毎の平均点や習熟度を調査して授業時間数や授業の時期を担当者を通じて検討している。		
3-12-6 カリキュラムを定期的に見直しているか	3	年に2~3回授業担当者の検討会を実施している。	検討会の結果を短期・中期・長期にそれぞれの期間で見直しができるものに分け実施している。		

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

<b>3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか</b>
---

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-13-7 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	3	教育実施計画によって適正な位置づけをしている。	各教科共に必要な知識量に応じて時間・時期・テキストを準備し、各々の科目同士の位置づけを計画で示している。	国交省の定められた履修時間、教育科目に沿って学校独自のカリキュラムを作成。	
3-13-8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	4	年度当初または、授業開始前までに各担当者に提出してもらっている。	本校で定めたフォーマットに応じて各担当者に適正に作成・提出してもらっている。	国交省の定められた履修時間、教育科目に沿って学校独自のカリキュラムを作成。	
3-13-9 各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	2	各担当者に任せている。	一コマごとの単元や強調ポイントのみシラバスに表記してもらい、その他は各担当者に任せている。	国交省の定められた履修時間、教育科目に沿って学校独自のカリキュラムを作成。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-14-10 学生による授業評価を実施しているか	3	授業終了時点で学生に授業評価をしてもらうように準備している。	学生授業アンケートの実施。	今年度は実施できず、来年度の課題である。	
3-14-11 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	3	学生授業アンケート及び教員の授業自己評価アンケートに基づき各授業の課題等見だし次年度に生かす。	学生授業アンケート、授業自己評価アンケートの実施。	授業評価アンケートにより、次年度の課題を見いだし、より良い授業を展開すること。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

<b>3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</b>
--

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-12 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか	3	専門性では優れた人材を備えているが、教授力等を考えると教員としての経験不足が否めない。	専門学校の教員としての経験年数が不足している。	技術面より学生の管理・指導面の経験が不足しているため、校内研修等（職員会議等）を実施していく。	
3-15-13 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	3	自動車整備士としての専門性や学科教員としての専門性はレベルには達していると思われるが、自動車業界として考えると不十分な点がある。	実習担当にディーラーやサービス工場等の経験者少ない。学科担当者は整備士の資格取得者が少ないため自らの専門技術を自動車技術への応用性がやや不十分。	常に、外部研修への参加をし、情報・技術面での専門性レベルを高めて行く。	
3-15-14 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	3	実習担当教員は全員 2 級自動車整備士の資格取得者であり、日々技術向上を図っている。	実習検討会等を定期的実施し、専門性の向上に努めている。	今後も実習検討会等を定期的実施し、職員の研鑽を高め専門性の向上に努めていく。	
3-15-15 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	4	本校独自の研究授業等はないが実習担当者は定期的に自動車整備振興会主催等の研修に参加し専門性の向上を図っている。	企業主催の器具取り扱い研修会、自動車整備振興会主催の技術研修会への参加。	常に、外部研修への参加をし、情報・技術面での専門性レベルを高めて行く。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-16 教員の教授力(インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか	2	評価は行っていない。	副校長、教務課長他が授業中に教室や実習上等を巡回する程度である。	公開授業や研究授業、教材研究の方法等を積極的に進めていき教授力を高めて行く。	
3-15-17 教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	3	研究授業等は行っていない。	資料等のやり取りは行っても教授力向上のための研修は行っていない。	公開授業や研究授業、教材研究の方法等を積極的に進めていき教授力を高めて行く。	
3-15-18 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	2	実習においては、2名の教員が、学科においては、同じ科目を複数の教員が行う場合に協議している。	教育計画と実習検討会の実施や職員会議等で意思疎通を行い、円滑に協議している。	公開授業や研究授業、教材研究の方法等を積極的に進めていき教授力を高めて行く。	
3-15-19 非常勤講師間で適切に協業しているか	2	行っていない。	非常勤講師の数が少なく、各々教育担当内容及び時期、時間が違うため行っていない。		

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-20 非常勤講師の採用基準は明確か	3	本校責任者（副校長）が行うようになっているが、人事の最終決定者は経営者である。	本来、学園内人事は経営者が行うようになっているため明確な採用基準はない。	専門性や外部情報を持ち得た教授力の高い非常勤講師を採用して、教員の補完をして頂く。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-16-21 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	明確になっている。	教務内規により明確に教員に周知徹底している。	学生の学力の低下傾向が引き続き続いていくと考えられ、学力に見合う成績評価を思考していく方向を考えていく必要がある。	
3-16-22 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	4	大学3年編入が認められており、単位互換に問題はない。	明確な基準に則って例年、若干名の大学編入者を出している。	自動車業界の衰退と求人・採用減少に向けて大学への編入を学園グループの特色を生かして進めていく必要がある。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切



## 3-17 資格取得の指導体制はあるか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-17-23 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	4	総合的に資格取得に向けたカリキュラム構成になっている。	授業内容を基礎的な内容を重視しながらそれがどのような形で出題されるかを併せた構成にしている。	毎年の国試問題を分析し、傾向による授業内容の見直し等を図っていく必要がある。	
3-17-24 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	4	カリキュラムとともに補習や対策講座を積極的に取り入れている。	講座的なものに加えて補習において徹底した個人指導をしている。	毎年の国試問題を分析し、傾向による授業内容の見直し等を図っていく必要がある。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 基準 4 学修成果

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>二級自動車整備士国家資格を取得する自動車整備学科単独の単科専門学校であるため、最終目標は卒業時二級自動車整備士国家試験合格 100%及び、自動車関係への就職 100%を目指している。</p>	

## 4-18 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-18-1 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3	2008年後半の世界的不況による国際的レベルでの自動車産業界の低迷による影響を現2年生が受けている。	ディーラーが求人見送りや求人数を減らしている。	自動車業界の衰退による求人減少に対して、求人開拓を積極的に行う事や大学への編入学等を視野に入れ指導を行う。	
4-18-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	3	過去の就職先・就職率をデータとして保存している。	受験者に対しては受験報告書の提出を義務化しており、受験先の情報を次年度に生かすようにしている。	受験報告書の分析を行いその結果を学生に徹底させ、就職指導を行っていく必要がある。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 4-19 資格取得率の向上が図られているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-19-3 資格取得率の向上が図られているか	4	二級自動車整備士の国家資格100%への向上と任意での多数の業界に関する資格取得を薦めている。	二級自動車整備士以外に7種類を任意で資格取得させている。	一般社会人の合格確率も低い資格等も有り、授業・国試対策の合間でいかに効率よく補習等が出来るか、合格率を高められるかが課題である。	
4-19-4 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	各年毎に資格別に統計資料として保存している。	統計資料を基に各年毎の合格率等を把握出来るようにしている。	一般社会人の語彙確率も低い資格等も有り、授業・国試対策の合間でいかに効率よく補習等が出来るか、合格率を高められるかが課題である。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 4-20 退学率の低減が図られているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-20-5 退学率の低減が図られているか	4	若者の自動車離れと自動車業界の低迷により、整備士への希望者が減少している中で、入学しながらも志半ばで進路変更する学生が若干名いる。	夢・希望と現実の違いや、アルバイトや生活の不規則な者が退学をしているが、特に顕著に見られるのが、経済的理由での退学に全て結びついている。	担任制をとり家庭への連絡、個人指導等を徹底しているが、最終的に本人・保護者の意志が尊重されるため、解決方法を見いだせないのが現状である。	
4-22-6 入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	過去の入退学者数は統計資料として保存している。	統計資料を基に各年毎の入学・退学率等を把握出来るようにしている。	経済的な理由での進路変更の増加が見られ、アルバイト等授業に影響がない程度で認め、進路変更への歯止めを掛ける。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-21-7 卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか	2	自動車整備に関しての在校生の社会的活躍に関する評価はまだ把握していないが卒業生のディーラーにおける整備コンクール出場等の活躍は若干評価している。	昨年度はマツダの整備コンクール九州大会に卒業生が2名代表として出場。	職種に関係しているのか離職率が高く、現状を把握出来ない状況である。	
4-21-8 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	2	整備コンクール出場等の活躍している。	整備コンクール出場等の活躍している。	職種に関係しているのか離職率が高く、現状を把握出来ない状況である。	
4-21-9 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか	2	整備コンクール出場等の活躍は若干評価している。	整備コンクール出場等の活躍している。	職種に関係しているのか離職率が高く、現状を把握出来ない状況である。	
4-21-10 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものを記述できるか	2	整備コンクール出場等の活躍は若干評価している。	整備コンクール出場等の活躍している。	職種に関係しているのか離職率が高く、現状を把握出来ない状況である。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 基準5 学生支援

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>2級整備士の国家試験対策も重点項目であるが、自動車関係への就職に対しての積極的な支援策として、本校独自の各ディーラーへの2週間の校外実習及び、就職担当者の企業訪問による就職活動。</p> <p>学生へは学科として「ビジネス」を独自科目として設定し、社会人としての自覚・基礎・マナー等の教育を行っている。</p> <p>実際の就職試験対策としては、履歴書記入・面接指導をきめ細かに学年を中心として行っている。</p> <p>また、上級（大学）学校への3年次編入にもグループ校の特長を生かし希望者には推薦を行っている。</p>	<p>本校独自の1週間の各ディーラーへの校外実習（インターンシップ）を取り入れ、現場の状況・実情の把握と仕事の困難さを体験させている。</p>

## 5-22 就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-22-1 学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	3	就職担当・学年、特に学年主任や担任を中心に機能している。	履歴書記入・面接指導や進学希望者に対してはグループ校への推薦等を勧めている。	求人の減少傾向から合格への道筋を緻密に計画を立てて指導していく方法を少ない職員の中で進めていく必要がある。	
5-22-2 就職に関する説明会を実施しているか	3	就職担当・学年、特に学年主任や担任を中心に機能している。	1年前期終了時（夏期休業）に企業訪問等も実施されるので学年を通して説明指導を行っている。	就職への自覚を持たせる事を重点に置き求人の減少を自らの置かれた立場として自覚させ、就職への真剣な取り組みを進める。	
5-22-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	3	8月第一土・日曜日に1年三者面談の実施や個別指導を実施。	保護者の考え等も考慮するため三者面談を実施し、就職に対する希望、学生の自覚等協力要請を行っている。	保護者に対しても就職への自覚を持たせる事を重点に置き求人の減少を自らの置かれた立場として自覚させ、就職への真剣な取り組みを進める。	
5-22-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	3	就職担当・学年、特に学年主任や担任を中心に機能している。	学科のビジネス及び学年を中心として履歴書の記入方法、面接指導を行っている。	今後一層時間を掛けた指導を行う必要がある。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切



## 5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-23-5 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	3	担任制を取っており、学年主任・担任を中心に学生相談を行っている。	就職の斡旋・相談や生活指導面等を学年・学生課を中心に実施。	全職員で今まで以上のきめ細やかな指導が何かを考えながら整備をしていく。	
5-23-6 学生相談室を開設しているか	2	相談室という部屋は設置していないが、研修室・特別教室・職員室にて行っている。	就職の斡旋・相談や生活指導面等を学年・学生課を中心に実施。	全職員で今まで以上のきめ細やかな指導が何かを考えながら体制の整備をしていく。	
5-23-7 学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか	1	専用カウンセラーはいない。	副校長を中心に教務・学生課長、学年主任・担任により応じている。	全職員で今まで以上のきめ細やかな指導が何かを考えながら体制の整備をしていく。	
5-23-8 留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	2	現在留学生は在籍している	昨年度まで2名の留学生に対しては、副校長・学生課長・事務長により機能させていた。	全職員で今まで以上のきめ細やかな指導が何かを考えながら体制の整備をしていく。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

<b>5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか</b>
--

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-24-9 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	4	入試制度による学費一部免除、本校独自の2段階の奨学金制度及び入学後の外部団体の奨学金制度紹介・斡旋を積極的に行っている。	AO入試・一般推薦は初年度納入金より3万円、指定校推薦5万円免除を行っている。AO入試では交通費の負担を減らす為一部の地域での地方試験を実施。	学園全体の経営再建の中で経済的支援体制の維持は非常に困難なものがあるが実施している。	
5-24-10 奨学金制度が整備され、有効に機能しているか	4	本校独自の奨学金制度として成績優秀者には無条件での初年度納入金一部免除や入学後の外部団体の奨学金制度紹介・斡旋を積極的に行っている。	卒業見込み者（現役）に対して評定平均値3.2以上はBランクとして初年度納入金より10万円免除、その他Aランク（若干名）20万円免除を実施している。	学園全体の経営再建の中で経済的支援体制の維持は非常に困難なものがあるが実施している。	
5-24-11 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか	4	学生への学費分納制度を実施している。	学費の4月・7月・12月と3期分納制度を実施しており、遅延者には延納制度を設けている。	学園全体の経営再建の中で経済的支援体制の維持は非常に困難なものがあるが実施している。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-25-12 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	3	定められた健康診断の実施。	1年次のレントゲン撮影・学生全体への検尿など、定められた診断、就職試験前の個別的健康診断等の実施。	今後の課題等はない。	
5-25-13 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	2	本校独自の組織体制は機能していない。	学園本部からの通達及び副校長からの本校独自の対策を学生へ指導徹底を行っている。	学校独自の指定病院（医院）等を設け、病気等や感染症への発病に対しては、連絡を徹底し即応体制をとる。	
5-25-14 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか	1	学園全体としての校医はいる。	病気等や感染症への発病に対しては注意を喚起し、近隣医療機関へ足を運ぶ様指導。	学校独自の指定病院（医院）等を設け、病気等や感染症への発病に対しては、連絡を徹底し即応体制をとる。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

<b>5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか</b>
--

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-26-15 スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	1	専門学校として実施していない。	個人的にボランティア活動等を行っている学生に対しての要請には理解している。	クラブ活動、ボランティア活動への取り組みは今後の課題である。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-27-16 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4	グループ大学学生寮、民間アパートの斡旋支援を行っている。	グループ大学学生寮への優先入寮、近隣民間アパートへの斡旋を行っている。	現状の体制を維持していく。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 5-28 保護者と適切に連携しているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-28-17 保護者と適切に連携しているか	4	入学式の保護者オリエンテーション、三者面談の実施。	該当学生への自宅・寮・本人への電話連絡、保護者への連絡、オリエンテーション、三者面談等を実施。	県外出身者の保護者への連絡、特に面談等が必要な場合があるため、その適切な手段（方法）を考える必要あり。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 5-29 卒業生への支援体制はあるか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-29-18 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	1	同窓会・保護者（後援会）等には組織化されていない。	活動はされていない。	自動車整備学科の単科専門学校であり、定員も少ないため将来的にも必要がないと思われる。	
5-29-19 卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	2	体制は出来ていない。	フォローアップ体制ではないが卒業生を通じての就職斡旋等を今年度より勧めている。	離職率が高く、別会社への就職等が多く見られる業界であるためフォローアップが出来ない。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 基準 6 教育環境

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は平成元年に2級自動車整備士養成施設の専門学校として開校している。</p> <p>学校法人都築学園及び、都築総合学園の一専門学校である。</p> <p>福岡市博多区の博多駅に近接しており登下校等や隣接するカーディーラ等も多くあり、2級自動車整備士養成施設の設置場所としての環境は優れているとおもわれる。</p> <p>しかし、開校して30年という年月の流れと、学園の一専門学校としての存在により独立採算性が保たれず今日に至っており、学校内の施設・設備等に関しては、新設の自動車大学校等と比較すると見劣りする。</p> <p>しかし、30年の歴史・実績は他校を圧倒するものがあり、そのような観点から見ると2級整備士養成施設としての教育環境は他校と形を並べるまたは、それ以上のものがある。</p>	<p>30年の歴史・実績は他校を圧倒するものがあるが、施設等の改善に時間と経費を掛けておらず、新設校と比較すると施設・設備・生活環境に見劣りするところもあるが、30年の実績により、国家試験合格率に関しても高合格率を維持するために教職員一丸となり取り組んでいる。</p>



## 6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-30-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	定員160名の2級整備専門学校であるため。規模的には大きな単学科専門学校であるがそれに見合う施設・設備は整備されている。	平均して3年毎に陸運局の立ち入り検査が実施されており、昨年本校で実施されたが申し分の無いものと評価された。	保安基準に適合した設備・器具等の設備更新を積極的に行っていく。	
6-30-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	4	開校以来の施設であり、施設、教育上の設備・教材に若干の古さが目立ってきており、特に、事故等が発生しないようにメンテナンスは定期的に辞している。	実習車運搬（移動）エレベータ、フォークリフト、リフト等安全性には十分配慮を行い定期的メンテナンスは業者に依頼している。	保安基準に適合した設備・器具等の設備更新を積極的に行っていく。	
6-30-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	4	都築学園及び都築総合学園の一専門学校であるため、また、私学の経営が困難を極めており計画通りの更新が出来ていない。	施設においては特別教室のエアコン交換等更新計画を立てているが遅れている状態である。設備にも同じ事が言える。	保安基準に適合した設備・器具等の更新は早めの計画を行っていく。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

<b>6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</b>
--

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-31-4 学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	4	学外実習、国内外の研修等は整備されている。	毎年、ディーラーへの学外実習、一年時の校外研修、2年次の海外研修に関しては整備士養成校としての配慮を行い実施している。	ディーラーへの学外実習希望者と不参加者の校内実習を並行して、行うが入学者の減少と、ディーラー等の実習受け入れ先の確保が問題。である。	
6-31-5 学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果を確認しているか	4	確認できている。	学外実習や国内外研修も整備士養成校、学生として実のある校外実習・研修を前年度の反省を元に計画たてている。	学外実習先への日誌の提出等により学生の評価と実績を把握出来るが、不参加者もあり、校内研修という名目で校外実習と同じ評価で実習を行っている。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 6-32 防災に対する体制は整備されているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-32-6 防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	3	整備され機能している。	毎年、防災設備・器具等の保守点検を行っている。	自動車整備学科の特質で、他の専門学校にない設備・器具があり特に地震対策には避難方法を含めて進めていく必要がある。	
6-32-7 災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	3	実習場の設備・器具に関して特に災害を起こす可能性が高いため、授業中等に教員より徹底している。	特に地震災害時の避難マニュアル等を作成し避難方法の意識付けを行っている。	自動車整備学科の特質で、他の専門学校にない設備・器具があり特に地震対策には避難方法を含めて進めていく必要がある。	
6-32-8 実習時等の事故防止の体制は十分か	4	職員会議や実習担当会議、実習授業前後に学生への主旨徹底を図っているが不十分などところがある。	実習担当者、学生に十分に伝わっていない。 実習服、安全靴、帽子着用の徹底を図っているが帽子着用が不十分である。	自動車整備学科の特質で、他の専門学校にない設備・器具があり特に地震対策には避難方法を含めて進めていく必要がある。	
6-32-9 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	4	全員任意学生保険への加入を義務付けている。	全員任意学生保険への加入を義務付けている。	全員任意学生保険への加入を義務付けている。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-32-10 防災訓練を実施しているか	4	実施している。	学生防災マニュアルは作成しているが、徹底は十分できていない。	限られた時間の中で避難訓練などの防災訓練を行う計画を行っている。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 基準 7 学生の受け入れ募集

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は開校以来、建学の精神である「個性の伸展」を学生募集の中にうたい引き継がれてきている。</p> <p>整備士への夢と希望を持った生徒、来卒者、社会人、工業系自動車科・コース以外の出身者も受け入れている。</p> <p>学生要覧、募集要項、HP、職員による広報活動や進学情報社との契約を行い九州・山口各県を中心に募集を行い幅広く希望者を受け入れている。</p>	

## 7-33 学生募集活動は、適正に行われているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-33-1 学生募集活動は、適正に行われているか	3	行われているがやや不十分な面もある。	進学情報誌との契約が少ない。 専門の広報担当者がいないので、職務の関係で教職員の広報活動に制約がある。	専門の広報担当者がいないため教職員一丸となり広報活動を行っているが、現場を把握しているため、精細なところまで説明が出来る。	
7-33-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	3	なっている。	現状の本校をそのまま見て、知って貰えるような学校案内の作製、OC等を実施。	ありのままの姿と説明をして、受験者が納得して入学している。	
7-33-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	3	体制にある。	入試事務局を副校長・事務長・事務職員で構成して志望者・保護者に対応している。	副校長を中心に問い合わせ・相談には個別に対応している。	
7-33-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	2	行われていない。	定員を満たす意気込みで広報活動を実施しているが、若者の自動車離れや新設校の開校により十分な活動が出来ていない。	定員を満たす意気込みで広報活動を実施しているが、若者の自動車離れや新設校の開校により十分な活動が出来ていない。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-34-5 学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	4	正確に伝えられている。	本校の特徴が30年の歴史と実績であり、学生募集において最重要ポイントである。	正確に伝えており、この資格取得実績を募集活動に生かしていきたい。	
7-34-6 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	4	貢献している。	30年間の自動車整備士国家試験実績、就職率を学生募集に活かされている。	貢献している。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-35-7 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4	行われている。	入試実施要領に基づき全職員で実施。	行われている。	
7-35-8 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	4	把握している。	単科（二級自動車整備学科）だけであるため。	把握している。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切



## 7-36 学納金は妥当なものとなっているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-36-9 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	4	現在の学納金が妥当なものとしての目安になり、学生及び保護者の負担感を考慮しているかは、判断できないが、学校側としては妥当と思われる。	福岡市周辺 4 校の学納金と比較しても、低めの設定を行い他校より考慮していると思われる。	経済的困窮者が増える中、整備士への受験者も減少しており、学費減額等も考慮する考え方もあるが、今の校納金は他校と比較しても適切であると考えられる。	
7-36-10 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	4	二級自動車整備学科の単科校であり掌握している。	二級自動車整備学科の単科校であるため。	二級自動車整備学科の単科校であり掌握している。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 基準 8 財務

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>都築学園の一専門学校であり、学園全体の収支及び決済で運営されており、毎年提出する次年度予算も決済が降りるが、その都度再度伺いを出さなければならない。また、予算内での購入も出来ない場合や実施できないシステムに成っている。</p>	<p>学園全体の収支悪化及び、専門学校の存続の有無が問われている時代であり、高校生の大半は大学進学に向いているのが現状である。 その中で若者の自動車離れ、2008年9月のリーマンブラザーズ証券の破産による世界不況で自動車業界の不振が特に整備専門学校に多大な影響を与えている。</p>

## 8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-37-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2	言えない。	学生の減少、学園全体の経営再建のため。	学園本部が一括して学園全体を運営しており、財務数値が学校の財務基盤として成り立たない。	
8-37-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	2	数値的なものはあるが学校の財務数値としては把握していないし、出来ない。	学園本部が一括して学園全体を運営しており、財務数値が学校の財務基盤として成り立たない。	学園本部が一括して学園全体を運営しており、財務数値が学校の財務基盤として成り立たない。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-38-3 年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	2	成っていない。	学生の減少、学園全体の経営再建のため。	年々学園からの予算配分の減少と経費節減の指導を受けている。	
8-38-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか	2	執行されていない。	学生の減少、学園全体の経営再建のため。	年々学園からの予算配分の減少と経費節減の指導を受けているため、必要最低限度の保安基準に沿った器具等の設置を優先してい	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-39-5 財務について会計監査が適正におこなわれているか	4	行われている。	学生の減少、学園全体の経営再建のため。	予算配分の減少と経費節減の指導を受けている。	
8-39-6 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	4	行われている。	学生の減少、学園全体の経営再建のため。	予算配分の減少と経費節減の指導を受けている。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 8-40 財務情報公開の体制整備はできているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-40-7 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	4	できている。			
8-40-8 私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	4	できている。			

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 基準 9 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は文部科学省から認可された専修学校であり、また、国土交通省の二級整備士養成施設であるため、専修学校としての文部科学省の設置基準および国土交通省の二級整備士養成施設のため、福岡陸運局による立ち入り検査等行われており検査に合格するように施設・設備・教育内容・出席管理等慎重且つ適切に実施している。</p>	<p>平成 20 年の九州運輸局の立ち入り検査においては、改善事項等もなく合格している。</p>

## 9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-41-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	4	毎回3年毎に陸運局の立ち入り検査が行われており適正な運営が行われている。	毎回3年毎に陸運局の立ち入り検査により、適正な運営が行われている事に評価を頂いている。	九州運輸局の保安基準の改正等に合わせた、設備・器具等の導入を怠らないように進めていく必要がある。	
9-41-2 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	4	毎回3年毎に陸運局の立ち入り検査が行われており適正な運営が行われており、教職員・学生にも遵守されなければならない事を徹底している。	毎回3年毎に陸運局の立ち入り検査により、適正な運営が行われている事に評価を頂いている。	九州運輸局の保安基準の改正等に合わせた、設備・器具等の導入を怠らないように進めていく必要があり、授業等に生かしていく必要がある。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切



## 9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-42-3 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	2	個人情報等の資料は、副校長・事務長・教務課長により保管することを義務付けている。	個人情報が場合によって個人を不幸を招く根源ともなることを認識することにある。	個人情報が場合によって個人を不幸を招く根源ともなることを職員同士が認識する研修会や外部講師による研修会を重ねる。	
9-42-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	2	教職員間には認識されているが、学生等の個人情報の啓発活動は不十分である。	学生間の個人中傷は肥大化する傾向が考えられるため、十分配慮が必要である。	職員の認識で学生に授業に取り込みながら啓発活動を認識させる。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-43-5 自己点検・自己評価を定期的を実施し、問題点の改善に努めているか	2	昨年度より実施。	。		
9-43-6 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	2	昨年度より実施。			
9-43-7 自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	2	昨年度より実施しているため検討委員会を設置し方針等の叩き台等を作成している。	副校長・教務・事務長による検討委員会において進めている。		

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 9-44 自己点検・自己評価結果の公開はしているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-44-8 自己点検・自己評価結果は公開しているか	4	公開している。	昨年度より実施。	昨年度より実施しているため、自己点検・自己評価を正しく行うための準備期間として公開まで確立している。	
9-44-9 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	3	昨年度より実施しているため公開に関する方針は確立されている。	昨年度より実施しているため、自己点検・自己評価を正しく行うための準備期間として公開まで確立している。	9-44-8と同様である。	
9-44-10 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	2	昨年度より実施しているため公開に関する方針は十分伝わっていない。	9-44-10と同様である。	9-44-10と同様である。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 基準 10 社会貢献・地域貢献

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>2008年9月のアメリカから発信した世界的大恐慌（リーマンショック）に端を発した日本経済の失墜、特に自動車産業界への影響は整備専門学校生の関連企業による求人数および採用にも少なからず影響を受けているのが現状である。</p> <p>また、若者の車離れが進んでおり、車に興味を持つ若者が現状している。その中で、自動車業界および、自動車整備士とは何かとすることを、社会に特に高校生、中学生に幅広く知って貰いたいために積極的に上級学校体験学習等の授業を受け入れている。</p>	<p>高等学校や中学校の生徒で学年を問わず働きかけており、理解を得ている。</p>

## 10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45-1 広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	2	整備士養成機関として出来る限りの交流を図っている。	高等学校や中学校の総合学習での上級学校体験等の教育機関や自動車整備振興会や中古車査定協会等との連携、交流を進めている。	整備士希望者の減少の中で中学・高校生への体験入学等を積極的に行い整備士希望者の数を増やしていく対策を考慮する必要がある。	
10-45-2 学校の資源を活用し、生涯学習事業や附帯教育事業を行っているか	2	行っていない。	特になし。	特になし。	
10-45-3 学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか	2	十分は行っていない。	特になし。	地域の要請等があれば積極的に受け入れていく体制はある。	
10-45-4 諸外国の学校などと連携し、留学生の相互の受け入れ、共同研究・開発を行っているか	2	行っていない。	自動車整備士学科という特殊な学科のため困難な状況であると推測される。	自動車整備学科に自動車整備士、自動車ビジネスコースとコース分けを行いビジネスコースに留学生を受け入れるコースとしての位置づけをしている。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45-5 重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	2	自動車業界等の問題等は関連したものとして啓蒙活動は行っているが、社会問題は自動車と関連した地球温暖化等を結びつけている。	自動車の構造でのハイブリットカーによる授業、ハイブリット講習の受講などは積極的に進めている。	授業と国家試験との関連で、地球温暖化を深刻な社会問題として啓蒙していく。	
10-45-6 学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか	2	社会問題は自動車と関連した地球温暖化等を結びつけるくらいである。	自動車の構造でのハイブリットカーによる授業、ハイブリット講習の受講などは積極的に進めている。	授業と国家試験との関連で、地球温暖化を深刻な社会問題として啓蒙していく。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

## 10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

評価小項目	*評価	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-46-7 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2	本校としての取り組みは行っていないが、学生の独自のボランティア活動の支援は行っている。	地域の行事への参加（博多山笠等）や公共団体主催の活動等には参加依頼等があれば支援を行っている。	今後も地域の行事への参加（博多山笠等）や公共団体主催の活動等には参加依頼等があれば支援を行っている。	
10-46-8 学生のボランティア活動の状況を把握しているか	2	全体としての把握は把握していない。	学生の個人的な活動をどの範囲までボランティア活動としてとらえるかが難しく依頼書等の提出等での把握している。	学生の個人的な活動をどの範囲までボランティア活動としてとらえるかが難しく依頼書等の提出等での把握している。	

\* 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切